

第三中学校区における市立小中学校の 適正配置等に関する懇談会だより

第1号 令和3年7月 発行

近年、全国的な少子化等の影響による児童生徒数の減少や、学校施設の老朽化など、学校は様々な課題を抱えています。

この懇談会では、将来にわたって、第三中学校区の子どもたちの良好な教育環境を確保し、学校教育の充実を図るため、学校の適正な配置とはどういうものかを、ワークショップ形式で意見交換を行っています。

★ 第1回懇談会を開催しました！！

開催概要 日時：令和3年7月2日（金）19時～21時 場所：星田会館 第4会議室

第1回懇談会では、第三中学校区の現状と課題や、本市が取り組んでいる小中一貫教育とはどのような教育なのか、第三中学校区での実際の取り組み事例も含めて参加者に説明を行いました。また、急速に変化する時代の中で、“どのような子どもになってほしいか”をテーマに参加者どうしで意見交換を行いました。

私は、世の中についてゆけないが、その流れの中で子どもたちは生きてゆく。先生も奮闘している。孫たちが生き続けられる、流れに乗ってゆける子になってほしい。

ここの学校、地域の出身でよかったと思ってもらえれば。仕事でお客様として先生が来られた時に、学校のほとんどの子が泳げるのにびっくりしていた。習い事に力を入れているのに驚いていた。それを聞き、地域特性の良さが大事だと思った。

無理と言わず、わからないことに立ち向かって行ける力があればいいと思う。



施設老朽化は大きな問題だが、今の子、将来の子、少子化も考える必要がある。一貫校もメリット・デメリット両方ある。

柔軟に対応できる子。人の話を聞ける子。コミュニケーションのとれる子になってほしい。子どもが小さいころから人格者として対等に地域も付き合っただけでゆかねばならないと感じた。

ネットだけで実際に触らないものがわかった気になる。触っていない植物、漆などは、年寄りにはわかるが、子どもはわからない。自然が多いので、それがわかるような教育が交野ならできると思う。

説明内容

1. 第三中学校区の現状と課題

少子化や施設老朽化等の課題を解消し、将来にわたって、子どもたちが安心・安全に、良好な教育環境のもとで学べるような学校の配置や在り方を考える必要があります。

2. 小中一貫教育について

交野市では、令和2年度からすべての学校で交野型小中一貫教育を実践中です。

小学校6年間、中学校3年間ではなく、義務教育9年間で系統性のある教育活動を行います。

3. 小中一貫教育の取り組みについて

星のまち学園での小中交流・小小交流・教職員交流などを紹介。

4. ワークショップ

テーマ：どのような子どもになってほしいか ⇒ 意見は表面



懇談会の構成を紹介します

懇談会は、第三中学校区内の4校に関わる学校関係団体・地域関係団体からご参加の方や、市民公募の皆さんの合計36名で構成されています。

交野市 PTA 協議会	12名	区長会（第三中学校区の区長）	6名
学校評議員	4名	子ども会育成連絡協議会	1名
青少年指導員	1名	校区福祉委員	3名
民生委員児童委員・主任児童委員	3名	市民公募	7名

※参加者のうち、1名の方は区長会と校区福祉委員を兼任されています。



今後の予定

第2回 懇談会

日時：令和3年8月6日（金）
19時～ ※2時間程度の予定
場所：星田会館 第4会議室

★☆先進事例施設見学に行きます☆★

懇談会参加者のうち、希望された方で、先進事例の施設見学を予定しています。
見学施設：①京都市立凌風小中学校
②京都市立向島秀蓮小中学校

懇談会は、傍聴できます。

どんな話をしているの？どんな進め方をしているの？など、懇談会が開かれた場であるために、傍聴していただくことができます。

傍聴方法

- 事前申し込みは不要
- 開会5分前までに会場で受付いたします。
- 定員を5名とさせていただきます。



お知らせ

♪ホームページでは、懇談会の詳細や次回の開催、発行済の懇談会だよりをご覧ください。

♪ホームページは、下の URL や右下の QR コードからもアクセスいただけます。

URL <https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2021050700021/>

《お問い合わせ》 交野市教育委員会 学校教育部 まなび未来課
電話：072-810-8010（代） FAX 072-892-4800
住所：〒576-0052 交野市私部2丁目29番1号（青年の家1階）
メール：manabi-mirai@city.katano.osaka.jp

